



2022年3月25日
みその都市デザイン協議会
美園タウンマネジメント協会

さいたま市・美園地区の〈公民+学〉によるまちづくりビジョン
『美園スタジアムタウンビジョン 2050』を策定
地区将来像の共有による連携・参画・協働を促進し、取組加速化

みその都市デザイン協議会（埼玉県さいたま市、会長：久保田尚埼玉大学院教授）および美園タウンマネジメント協会（埼玉県さいたま市、会長：西宏章慶応義塾大学教授）は、首都圏近郊に位置するさいたま市・美園地区の目指すべき将来像を共有しながら、〈美園〉に関わる様々な主体の連携・参画・協働を促進し、各種取組を一層加速化していくための指針として、〈公民+学〉によるまちづくりビジョン『美園スタジアムタウンビジョン 2050』を策定いたしました。

さいたま市美園地区では、道路整備や宅地造成、住宅・店舗等の建設など、市の副都心の一つとして大規模な新市街地形成を行いながら、〈スポーツ、健康、環境・エネルギー〉をテーマとした拠点づくりが進行中です。「浦和美園駅」の開業や「埼玉スタジアム 2002 公園」の開設、「みそのウイングシティ」の土地区画整理事業施行開始から 20 年余りが経過し、子育て世代を中心とした人口増や、企業立地等により美園に関わるプレイヤーは年々増加しています。一方、この 20 年間で ICT 等技術革新も急速に進展し、環境意識、健康志向の高まりや、ライフスタイル・価値観の多様化など大きな変革期を迎えており、ますます複雑化する地域課題に対応しながら〈美園〉を成長・成熟させ、都市拠点形成（夜間人口・昼間人口・交流人口の増加）をより一層推進しながら持続可能な地域社会を構築していく必要があります。

そこで、『美園スタジアムタウン憲章ⁱ』（2017 年 4 月策定・公表）にて先行整理された理念に即しつつ、アーバンデザインセンターみそのⁱⁱを拠点に各種まちづくりプロジェクトが進行中ですが、次の時代のまちづくりに向け、本地区で活動を進める〈公民+学〉の連携組織：みその都市デザイン協議会ⁱⁱⁱおよび美園タウンマネジメント協会^{iv}では、これまでの取組の蓄積も活かしつつ、首都圏郊外に位置する本地区の目指すべき〈将来像〉を共有しながら、〈美園〉に関わる様々な主体の連携・参画・協働を促進し、各種取組を一層加速化していくための指針として『美園スタジアムタウンビジョン 2050』をとりまとめました。

本ビジョンにおいては、本地区の魅力を「自然」「まち」「人」の観点からレビューした上で、その魅力を最大限活用した将来像を〈ウェルビーイング〉〈アーバンビレッジ〉〈グリーンインフラ〉のキーワードから整理し、その将来像実現に向けた方針・戦略をとりまとめております。

今後、本ビジョンの普及を図りながら、まちづくりの〈プレイヤー〉・〈サポーター〉の参画を促進し、オープンかつフラットな連携・協働のもと、世界に誇れる〈スタジアムタウン〉づくりを機動的に実践してまいります。

『美園スタジアムタウンビジョン 2050』の概要

■策定主体 みその都市デザイン協議会、美園タウンマネジメント協会

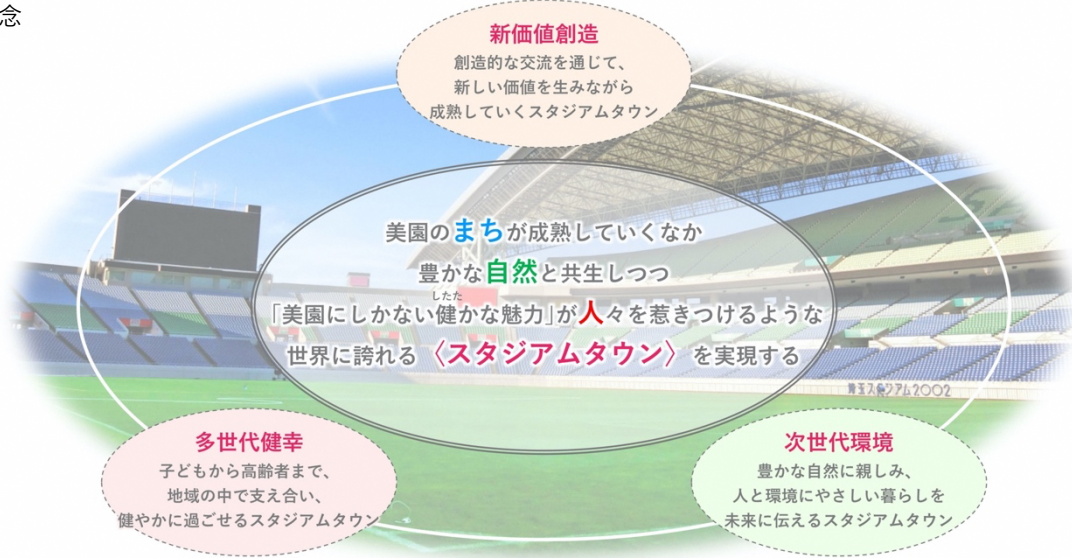
■策定目的 次の時代のまちづくりに向け、これまでの取組の蓄積も活かしつつ、首都圏郊外に位置する本地区の目指すべき〈将来像〉を共有しながら、〈美園〉に関わる様々な主体の連携・参画・協働を促進し、各種取組を一層加速化していくための指針として策定。

※本ビジョンは、まちづくりの基本理念を先行的にとりまとめ策定した『美園スタジアムタウン憲章』を発展・充実させたもので、国土交通省令和 2 年度「官民連携まちなか再生推進事業（エリプラットフォーム活動支援事業）」を活用して策定調査を実施いたしました。






▲紹介 Web ページ
(UDCMi 公式サイト内)

■基本理念



■将来像・まちづくりの方針

将来像 (2050)	まちづくりの方針 (2030)
 <p>埼玉を核に、過ごす人がおのずと 〈ウェルビーイングになるまち〉</p>	<p>「埼玉」を核にしたスポーツ・健康文化を伝統・誇りに育てる</p> <p>「埼玉」を核に、まちの構造を健幸増進装置化する</p> <p>多彩なライフスタイルの土台となり、健幸を支え合う基盤をつくる</p>
 <p>伝承と先端技術が織り成す 〈美園版アーバンビレッジ〉</p>	<p>美園の個性を磨き・育て、都心居住者をおもてなす</p> <p>日々の暮らしに「農」を取り込む</p> <p>意欲的なチャレンジから「美園発」を創出し、育てる</p>
 <p>究極のグリーンインフラ 〈自然に溶け込むまち〉</p>	<p>「有事に心強く、平時にうれしい」</p> <p>自然・まちと人との信頼関係をつくる</p> <p>まちのグリーン成長を促進し、ゼロカーボンへ貢献する</p>

■活動指針

「一人ひとりがまちづくりのプレイヤーであり、サポーターとなる。」
住民・地権者、企業、大学等の専門機関、行政機関など【公】【民】【学】それぞれの立場で「美園」に係る様々な人々や団体が、美園の“将来像”を共有しながら、オープンかつフラットな連携・協働のもと、地域の魅力を生かした事業・活動を通じて世界に誇れる〈スタジアムタウン〉づくりを機動的に実践。

- i **美園スタジアムタウン憲章**： 住民・地権者・民間企業・行政機関・大学など、さいたま市美園地区のまちづくりに係る主体間の連携・協働の促進に向けて、将来都市像や基本理念を先行的に整理し、共有を図るための“まちづくり憲章”として2017年4月に策定・公表（策定主体：美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会）。
- ii **アーバンデザインセンターみその [UDCMi]**： さいたま市美園地区における市民・行政・民間企業・大学等専門機関など多様な主体の連携を促進させ、新たなまちづくりプロジェクトを構想・事業化・発信していくためのまちづくり拠点施設として、2015年10月に埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」西口に開設。 **[Website]** <https://www.misono-tm.org/udcmi/>
- iii **みその都市デザイン協議会**： さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて2016年3月に設立（会長：久保田尚埼玉大学大学院教授/事務局：(一社)美園タウンマネジメント・さいたま市浦和東部まちづくり事務所）。地元組織・行政・立地企業・大学など“公民+学”の各主体が参画し（17団体：2022年3月時点）、UDCMiを協働・発信の場として、スタジアムアクセス環境改善や公共空間の高質化・利活用、街並み誘導など主にまちづくりに係るハード面の検討・協議・調整に取り組む。
- iv **美園タウンマネジメント協会**： さいたま市美園地区の加速度的な成長・発展を推し進めるため、2015年8月に設立（会長：西宏章慶應義塾大学教授/事務局：(一社)美園タウンマネジメント）。UDCMiを拠点に、“公民+学”の各主体が業界の枠を超えて連携し（41団体：2022年3月時点）、最先端のICT・IoT技術や大学・民間企業の知見を生かした先進的な総合生活支援サービス等の創出を図り、「スマートシティさいたまモデル」の構築・発信を目指している。

「この件についてのお問い合わせ先」
一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）
Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org